

みやのわ バックナンバー

みやのわバックナンバーは、当院のホームページでご覧いただけます。

トップページ ▶ 病院について ▶ 広報

また、1F診療費支払機横、2Fさいみや文庫には冊子をご用意しておりますので、ご自由にお取りください。



当院の直近3カ月の診療実績

	平成30年3月	平成30年4月	平成30年5月
延外来患者数	30,888人	28,898人	29,029人
実入院患者数	1,439人	1,479人	1,473人
平均在院日数	12.6日	12.2日	12.5日
救命救急センター患者数	1,202人	1,316人	1,327人
救急車台数	516台	558台	526台
手術件数	634件	579件	579件

一般外来診療のご案内

受付時間 8:30 ~ 11:00
(一部、受付時間が異なる診療科がございます)

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。初診時に紹介状がない場合には、**選定療養費5,000円(税込)**をお支払いいただくことになりますので、ご理解のほどお願いいたします。

無料低額診療のご案内

当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。



治療費の支払いにお困りの方は、1階「**がん相談支援センター／医療相談・看護相談室**」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

栃木県からのお知らせ 救急電話相談のご案内

子どもの救急電話相談(概ね15歳未満)

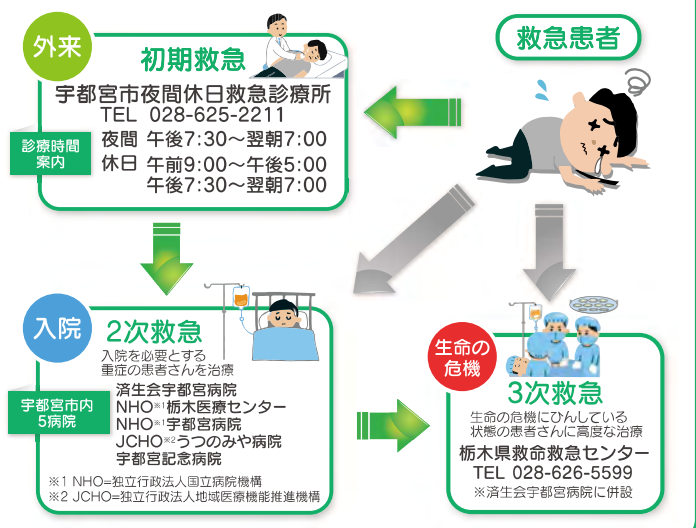
☎ 028-600-0099 局番なしの #8000
月～土 午後 6:00 ~ 翌朝 8:00
日祝日 午前 8:00 ~ 翌朝 8:00(24 時間)

大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)

☎ 028-623-3344 局番なしの #7111
毎 日 午後 6:00 ~ 午後 10:00

急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

栃木県からのお知らせ 救急医療体制のお知らせ



ボランティア募集のご案内

当院では、患者さんの健康回復を共に願い、ご協力くださるボランティアの方を募集しております。

【活動内容】
車やタクシーの乗降りの介助、車椅子の移動介助、入院患者さんを病棟まで案内 など

【応募条件】
半年以上継続して活動できる方(学生を除く)
※無報酬での奉仕活動です。

お問い合わせ 済生会宇都宮病院
地域連携課：福田 / 人事課：飯田
☎ 028-626-5500 (代)
受付時間 月～金 9:00 ~ 17:00

がん相談支援センター 医療相談・看護相談室のご案内

がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えたい…」「誰かに聞いてもらいたい…」こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▶ 当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。電話と面談による相談をお受けしております。

☎ 028-626-5500(代)
【内線】3245



西郷隆盛の ふるさとを訪ねて



医療技術部長
小林 桂

私は日本史に興味があります。この度、九州に行く機会がありましたので、鹿児島まで足をのばし、今年特に話題となっている「西郷隆盛」のゆかりの地を巡ってきました。

西郷隆盛は薩摩藩の下級武士の長男として生まれました。名君と謳われた第11代藩主島津斉彬は西郷の才能をいち早く見抜き、拔擢しますが、斉彬公の死後は奄美大島や沖永良部島に流罪にされるなど不遇な時期を過ごします。その後、王制復古などを成し遂げ、戊辰戦争でも江戸を無血開城するなど中心的な役割を果たします。明治政府では参議となりますが、大久保利通や岩倉具視などの意見の食い違いから参議を辞して鹿児島に下野します。鹿児島では若者の教育に専念していましたが、私学校生徒の暴発が引き金となり西南戦争が起これてしまいます。やむなく戦いの指揮を執りますが、政府軍に敗れて城山で自刃し49年の生涯を閉じました。



私、桂は宿泊したホテルは城山に



みやのわ 編集スタッフの 編集後記

「みやのわ60号」をお読みいただきありがとうございます。この記事を執筆した5月は過ぎます。今号が皆さまのお手元に届く頃には、次第に夏の暑さを感じる時期かと思えます。この先、夏本番を迎えるにあたり、体調管理にはお気を付けください。

さて、私は4月から済生会宇都宮病院に転職しました。これを機に私は学生から社会人となり、自分の人生において一つの節目を迎えました。不慣れな部分もありますが、日々学びながら奮闘しています。

そして今回「みやのわ」も60号という一つの節目を迎えました。新人の身として皆さまと先輩方が本誌を通じ、積み上げてきた歴史にただただ驚くばかりです。また、節目は「今まで」を見つめ直し、「これから」目を向ける良い機会であると思います。60冊と今号までに積み上げてきたことを礎に、これからもより皆さまにとって必要とされる存在になれるよう精進してまいりますので、今後とも「みやのわ」をよりよくお願いいたします。

ちょこっとメモ

7月30日

梅干しの日

昔から、おにぎりやお弁当などで親しまれてきた梅干し。「梅を食べると難が去る」と言われており、「なん(7)がさる(30)」という語呂合わせで、7月30日に定められたそうです。

梅干しには、疲労回復効果や殺菌作用、整腸作用や老廃物を排出する効果など、様々な効果が期待できる「クエン酸」が豊富に含まれています。さらに、肝機能の動きを高め二日酔いに効果的とされている「ビルビン酸」や、脂肪燃焼効果が期待される「パニリン」という成分も含まれています。

このように、梅干しは体に嬉しい成分がたくさん含まれている食べ物なのです。今年は梅干しを積極的に食べて、暑い夏を乗り越えてみてはいかがでしょうか。